

## 新たな活動計画

須磨ニュータウンを拠点として、地域の方々の様々な暮らしのサポート活動を行ってまいります。昨年より、活動を始めました「居住支援事業」は現在進行している方がおります。それぞれの方にあった住居確保に向けて活動してまいります。

また、居場所づくり活動として、介護ステーションの場所を活用して、ひとり親家族や共働き家庭で夜遅くまでひとりで過ごすなど、課題を抱える子供たちが、放課後等に、食事や学習、団らんなどを通して安心して過ごすことができる居場所づくりを進める予定をしております。

発泡スチロールの再生を産業廃棄物処理の中間処理として行うために、別の場所への移転を計画しております。

色々なことにチャレンジしていきます。

## 会員募集

神戸西助け合いネットワークでは、私たちの活動にご賛同、ご協力頂ける方を募集しております。この私たちの活動をご理解頂き、何卒ご協力頂きますようお願いいたします。

### ●会員になっていただける方は

まず、本部事務所（078-795-3786）までご連絡ください。

### ●会費

個人会員（賛助金年会費） 一口 3,000円

団体会員（賛助金年会費） 一口 10,000円

※賛助金は1口以上、何口でもお受けいたします。

### ●振込先

ゆうちょ銀行 記号 14280 番号 04239941

名義：神戸西助け合いネットワーク

特定非営利活動法人  
神戸西助け合いネットワーク  
理事長 在里 俊一

〒654-0155 神戸市須磨区西落合2丁目1-6

TEL078-795-3786

FAX078-795-4498

<http://www.kobe-tasukeai.com/>

[info@kobe-tasukeai.com](mailto:info@kobe-tasukeai.com)

## 組織体制

理事長 在里 俊一  
理事 大井 敏弘 吉岡 良成 本岡美智子  
横山 和代 浅野 忠 萩尾 久江  
須見 修一 阿部 康男

監事 阪本 修

事務局長 吉岡 良成

正会員 38名 賛助会員 20名

神戸西助け合いネットワーク

- ・理事長 在里 俊一
- ・職員 5名・ボランティア 20名

リサイクル工房 あづま

- ・責任者 本岡 美智子
- ・職員 5名

介護ステーションたすけあい

- ・管理者およびサービス提供責任者 横山 和代
- ・ヘルパー 20名

作業所たすけあい（就労継続支援B型事業）

- ・管理者 阿部 康男
- ・サービス管理責任者 宮地 清文
- ・職員 4名

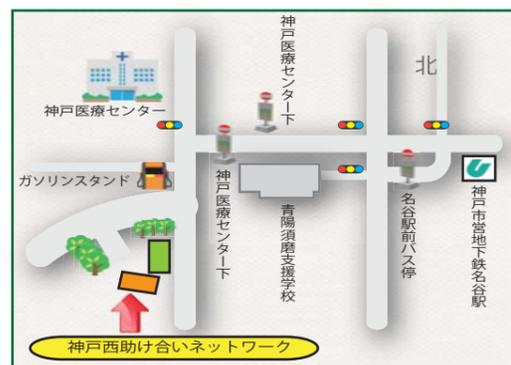
居住支援事業

- ・責任者 吉岡 良成
- 職員 3名

**できる人が  
できるときに  
できることを  
ボランティアスタッフ募集**

経験・技能を活かしたい方  
これから新たな経験を積みたい方  
性別・年齢は問いません  
活動可能な曜日、時間帯など  
お気軽にご相談ください

※有償でのボランティア活動を基本としています。



## NPO法人 神戸西助け合いネットワーク 私たちの活動ニュース

令和3年度活動報告  
第15号  
令和3年7月1日  
発行人：在里俊一  
特定非営利活動法人  
神戸西助け合いネットワーク

## 地域とともに26年 新たな街づくりが始まろうとしています

理事長 在里 俊一



この1年間はコロナ禍で地域活動にも様々な制約と大きな影響がありました。特に高齢者対象の介護を中心とした生活支援事業や障がい者の就労支援事業などの関係職員はコロナ感染に厳重に注意を払って参りましたので、精神的にも大変厳しい状態が長く続いています。1日も早くコロナが収束し、みんなが安心して暮らせる日が早く来ることを願っています。

私たちの組織は、あの阪神淡路大震災の被災者支援と街の復興を目指して設立いたしました。早いものであれから、26年が経過しました。この間、日本の高齢化は急激に進んで来ており、須磨ニュータウンも高齢化率は神戸市内で最も高く35%にもなりました。

先日、県営白川台住宅の引越しを依頼され行いましたが、この団地は昭和45年に建てられた住宅で建設後51年が経過し老朽化が進んで、兵庫県は早期に建て替えが必要と言うことで、エレベーターの無い5階建て670戸(1号棟から16号棟)を11階建て3棟418戸と8階建て1棟56戸の全部で474戸のエレベーター付きの団地に建て替えを始めました。尚、神戸市に於いても昭和55年度以前に建築したエレベーターの無い住宅の改修及び建て替え計画を策定し、より良好な市営住宅に向けての取り組みが始まりました。併せて、神戸市は名谷地区の活性化プランも計画し新たな魅力ある街を目指した活動に取り組んでいます。

尚、この名谷地区には神戸市の住宅供給公社が分譲したエレベーターの無い団地が16団地116棟2917戸もあります。これらの団地の再生も含めた新たな街づくりが始まろうとしています。高度経済成長期に開発した須磨ニュータウンは少子高齢化社会で人口は減少し、人生100年時代の新たな課題を克服しながら、行政と地域住民・自治会・管理組合・NPO法人などと力を合わせて、住み続けたいような魅力ある街づくりに、積極的に取り組みたいと思います。

## 活動の概要

須磨ニュータウンを拠点として、地域の方々の様々な暮らしのサポートをしてきまして、皆様のご支援により、令和2年度で満26年を迎えることが出来ました。現在、「何でも110番」をメイン事業として介護事業、就労継続支援B型事業、地球環境支援事業、移送事業、神戸市の委託事業、そして新たに始めました居住支援事業（お住まいでお困りの方の支援）を行っております。この中で「何でも110番」は、神戸市が行っております社会課題の解決に向けて自立的・持続的に提供されている事業を「神戸ソーシャルビジネスマーク認証事業」として位置づけております。そのモデル事業として、認証を受けることが出来ました。



## 地域の方々の生活をお手伝いする 何でも110番

「何でも 110 番」の令和2年度の1年間の件数は491件です。その内「剪定・草刈」は121件です。「草刈・剪定」は個人宅もありますが、団地等の管理組合からの依頼が多数あります。「家財の引取処分」で年間127件です。最近増えているのが、ご家族が亡くなられ方の「遺品整理」や、子供と同居のためや施設に入るための「引越」です。また、今までは団地内で当番を決めて行っていたのですが、高齢化が進みゴミステーションの掃除が出来なくなり、団地等のゴミステーションの掃除も増えてきております。また、高齢でゴミ出しが出来ないということで、介護保険制度外のゴミ出しを早朝に個人宅にお伺いしてゴミをゴミステーションまで出しに行く事を行っています。この様に、地域の方々のちょっとした困り事にも対応し高く評価を頂いております。



剪定作業      ゴミステーションの掃除

## 住宅困窮者への取り組み 居住支援事業

近年、社会情勢は刻々と変化し、住環境問題や高齢化問題、人材雇用問題等々さまざまな問題があらゆる地域で顕著化してきています。

2019年「住宅確保要配慮者居住支援法人」として指定を受け神戸市全域で住まい探しにお困りの方のご相談窓口として新たな事業に取り組んでいます。要支援者受付状況として期間内9名相談受付。内2名転居等完了（内1名は当方所有の介護ステーションたすけあいの建物の2階の1室を住居としております）。2名継続支援中。相談の内容も各自異なり住み慣れた場所を離れるという精神面での不安や不動産屋・大家さんの理解を得る事の難しさ等、この事業における社会の理解が必要だと思っています。

## 就労継続支援B型事業 作業所たすけあい

『作業所たすけあい』は平成30年8月に、名谷南センター（須磨区菅の台3丁目）の一角から、神戸西助け合いネットワーク本部の敷地内（須磨区西落合2丁目）に移転しました。その頃は利用者（障がい者）は9名（男性4名、女性5名）でしたが、現在の在籍者は男性9名、女性5名で男女合わせて14名となりました。

午前10時、ラジオ体操から作業所の一日は始まり、健康チェック（食事の内容、睡眠時間、入浴の有無、体温など）の後に、各自のプログラムに取り組んでいきます。

作業内容は、＜パチンコ台部品の分解＞・＜DM便配達＞・＜振込用紙ゴム印押し＞・＜市営住宅の清掃＞・＜手芸品・アクリルたわし、手編みの手提げ、座布団、マスク、帽子の製作＞・＜革製品・小銭入れ・カードケース・ミニチュアグッズの製作＞等を手がけています。

自主製品の販売先はハーバーランドのプロメナ神戸ビル2F「織姫」さんにて販売しています。今後はインターネット販売や他の商業店舗での交渉を考えています。

定員20名を目指し、今より、活気溢れた作業所を目指しています。

令和2年度にクーラーの設置に当たりNHK歳末たすけあい2次配分を受けることが出来ました。



## 地球環境支援事業 太陽光発電・天ぷら油・発泡スチロールの再生

構内に設置した太陽光発電システムは1年間で34,840円を売電しました。構内の電気使用料は429,340円ですので8%を賄っております。

使用済みてんぷら油の回収は各地の食堂や団地に回収箱を設置しておりますので、定期的に回収を行っております。その総量は年間で2,736リットルになります。この使用済みてんぷら油は、精製器でバイオディーゼル燃料を作り上げております。出来上がった燃料は当法人の2トントラックにて使用しております。



発泡スチロールの再生のためにインゴット化する減容機は平成25年に導入して8年が経ちます。発泡スチロールの出荷重量およびCO2削減効果は、下記の通りです。

発泡スチロール出荷状況 単位 kg

年度	出荷重量	CO2削減効果	単価の変動
25	13,860	15,107	55>60>65
26	19,740	21,517	65>80
27	13,030	14,202	80>60>30
28	13,180	14,367	30
29	10,120	11,031	30
30	11,250	12,263	61
31	14,530	15,838	61>58
2	15,470	16,862	58>30<32
合計	111,180	121,187	



## 高齢者・障がい者の方の外出をお手伝いする 移送サービス

「一般乗用旅客自動車運送事業」（介護タクシー）は、4台の車（内3台は車いす利用可能）で利用者を病院などへの移送を行っております。月平均37回の利用があり、神戸市のタクシー利用券を1年間で182枚使用があり、障がい者の利便性を図っております。



## 介護サービスと福祉用具サービス

神戸市須磨区北落合において「介護ステーションたすけあい」として介護事業を行っております。内容は「訪問介護」「介護予防訪問介護」「居宅介護」「重度訪問介護」「移動支援」「同行援護」で神戸市垂水区・須磨区を中心に利用者は27名で15名のヘルパーで支援を行っております。また、福祉用具関連として、「福祉用具貸与」「介護予防福祉用具貸与」特定福祉用具販売」「特定介護予防福祉用具販売」の行っております。

## 神戸市委託事業 リサイクル工房 あづま

神戸市中央区にあります「神戸市生涯学習支援センター（コムスタこうべ）」北棟2階にて「リサイクル工房あづま」を神戸市より委託運営管理を行っております。職員6名にて、「子供用品・古本の提供と引取」「段ボールコンポスト」「リサイクル教室」「おもちゃの修理相談」などを行っております。